

（退院・転院基準）  
 急性期病院 ※急性期  
 1) 急性期治療が終了していること  
 2) 全身状態が安定していること  
 \*退院：在宅が可能であること  
 \*転院：準備ができています

回復期リハ病院

（退院・転院基準）  
 ※回復期  
 1) ADLが在宅可能であり在宅への準備ができています  
 2) 回復期リハの効果がプラトーであること  
 3) 維持期への準備ができています

維持期リハ 病院・施設  
 ※維持期  
 1) 在宅への準備ができています  
 2) 維持期リハの効果がプラトーであること

現在の障害を説明します

運動の障害  
 ( )  
 言葉の障害  
 食べることの障害  
 排尿の障害  
 認知の障害  
 意識の障害  
 パス公示日  
 (平成 年 月 日)

ADL	発症前	退院時
mRS		
日常生活指標		

3つのリハコースを説明します

1ヶ月 2ヶ月 3ヶ月

ケアが必要なことを説明します

療養型病床・介護老人保健施設

軽度障害リハコース (1ヶ月)  
 BI 85-100, FIM110-126

標準リハコース (2ヶ月)  
 BI 55-80, FIM80-109

重度障害リハコース (3ヶ月)  
 BI 0-50, FIM18-79

リハビリが必要であることを説明します

詳しいリハ評価  
 バースル指数(BI)  
 FIM指数(FIM)  
 いずれかの評価でコースが決まります

以上の障害でリハビリが必要です。  
 詳しい評価はリハ病院でされます。  
 現在の移動能力で以下の3つのコースでリハビリがすすむと思われます。

排尿訓練 摂食・嚥下訓練 コミュニケーション訓練

在宅グループホーム ケアハウス 介護老人福祉施設

かかりつけ医の選択 生活習慣病の指導

	回復期入院時	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月
日常生活指標							
FIM又はBI							

維持期リハ(在宅、入所、転院)のためにはいろいろな準備が必要です。  
 主治医や医療相談員に相談しましょう。

軽度障害リハコース(1ヶ月)  
 ひとりで歩ける

標準リハコース(2ヶ月)  
 ひとりで座れる  
 ひとりで立てる

重度障害リハコース(3ヶ月)  
 ひとりで座れない

介護保険の説明

要介護認定 要支援1, 2 要介護1, 2, 3, 4, 5

家屋調査・改修 在宅医療 (かかりつけ医)

訪問診療・訪問リハ

介護保険の申請 ケアマネジャ決定 介護指導 転院入所調整 通所リハ・訪問看護

認定調査 ケアプラン作成 サービス担当者会議 在宅介護

治療の継続、管理、再発予防目標

血圧のコントロール 血圧管理 < 140/90

ワーファリン <PT-INR>  
 70才未満 2.0-3.0  
 70才以上 1.6-2.6

<脂質異常症>  
 LDL-コレステロール < 120mg/dℓ  
 HDL-コレステロール ≥ 40mg/dℓ  
 T-G < 150mg/dℓ

血糖  胃瘻  尿管切開  
 インスリンコントロール  シヤント圧  
 栄養管理  抗血小板剤

※ 経過中に急変した時は急性期病院へ連携します